

## 郡山市震災後子どものケアプロジェクト

### ペップキッズこおりやまの運営に関する検討会 第2回議事録

平成24年10月17日(水) 18:30分～

ペップキッズこおりやまセミナー室

阿部直樹	出	佐々木修平	出	宗方成利	出	植田一博	出	熊田仁	出	高田大三	出	橋本光子	欠
高岡厚子	出	伊藤啓子	欠	成井香苗	欠	宗形初枝	欠	坂本守	欠	国馬善朗	出	柿崎隆夫	欠
村山嘉延	欠	児玉大輔	欠	(代理)野崎真代				三澤隆	出	菊池信太郎	出	野口雅世子	出

#### 1 挨拶

●阿部リーダーから

#### 近況報告

##### 1)団体利用の開始について

9月実績	幼稚園	69名	10/17現在	幼稚園	468名
	保育園	32名		保育園	85名

##### 2)団体利用時における問題点について

- ・引率者が子どもたちから目を離してしまう。
- ・幼稚園の登園時間とペップの団体利用開始時間にギャップがあるため、実質1時間程度しか利用できない。

●佐々木課長挨拶

ペップ発展のため、意見を出し合い実り多い検討会にしたい。

#### 議題

##### 1) 年末年始の開館について

- ・H24年12月30日まで開館 H25年は1月2日から開館で決定
- ・H25年度については未定

##### 2) 一周年記念事業について

- ・開催日 平成24年12月23日(日)
- ・内容 遊び、学び、育つのコンセプトのもと、ペップ・郡山女子大、ニコニコ館で記念フォーラムを開催。  
具体的な内容については、別紙(案)参照。

(ペップでの1周年記念事業について)

- ・ペップにおいては、10時から記念セレモニーを開催。
- ・アクティブエリアにおいて、幼稚園児の鼓笛隊演奏を開催する。
- ・オープニングセレモニーのように、場内が一体となった雰囲気の中でのセレモニー開催。
- ・12/23と、12/24の第3クール、第4クールの時間帯にアクティブとキッチンそれぞれで記念イベントを開催する。

3) その他

- ・1周年記念事業については、大高社長も賛同している。
- ・女子大や、ニコニコ館での講演には大学生等、若い世代や、子育て中の母親、幼稚園、保育園等の子育て関係者にはぜひ参加してほしい。
- ・日大工学部、女子大も1周年記念事業やペップの企画に賛同しており、ボランティア派遣等でぜひ協力させてほしい。
- ・PTA連合会の集会等、今後予定されている各集会等で1周年記念事業のPRをしてみてはどうか？

4) 近況報告等

● 最近の利用者数について

各地に同様の施設ができたこともあり減少傾向にある。  
1年を通してみると、夏休みの利用者が多く、9月10月は各種行事があるので減少傾向にある。(キドキドを参考)

● ペップでのけが人について

オープン以来、骨折の報告件数は4件。  
場内での接触はあるが、出血等を含め大きな怪我はない。

● 保護者の見守りについて

保護者が遊んでいる子どもたちから離れ、カフェスペースに行ってしまう。  
子どもの近くにいても、携帯を見ている。

→ スタッフが保護者に対しお声掛けをして、子どもと向き合ってもらうよう、促している。

実際、ほかの施設よりは子どもと向き合っている保護者は多い。  
今後とも、親の不在を確認し、お声掛けをしていくことが必要。

● 大きい子、小さい子が混在しているなかでどうやって楽しく遊んでもらうか？

エアキャッスル等、いわゆるエア系の遊具については大きい子の体重が重いことから、その反動で小さい子が飛ばされてしまうため、混在がひどい場合は大きい子をランに誘導しその間小さい子に遊んでもらう。これをローテーション的に繰り返して対応している。

- 施設のキャパシティ等の問題もあるので、解決はなかなか困難だが、ほかの施設よりは遊具のすみわけはできている。  
今後は、入場者数を変更するなどといった対応も検討する必要がある。
- ボランティアについて  
10月中は毎週火曜日と木曜日に来てもらっている(団体利用に合せて)。  
11月からは本人の希望を確認し、曜日に関係なく来てもらう。  
今後は、スタッフとのミーティングの時間を確保することが必要。
- キッチンについて  
ハロウインイベント開始。  
11月からは、1日3ケール制を導入する。
- スタッフの健康管理について  
現状19名いるが、休みや休憩等の関係で現場にいる人数が1日平均10名を下回ることが多いため、今後、増員を検討する必要がある。。
- 屋外サーキットの実施について  
保護者に屋外活動に関するアンケートを実施して、その結果を基に実施を検討する。
- ペップに関する意見、理念等の共有について  
PEPを一時的なもので終わらせないためにも、意見や理念等を共有していくことが必要。

#### 配布資料

PEP Kids Koriyama1周年記念フォーラム開催概要(案)